

2015年
3月岡山県版
中国四国農政局

News Letter

「姫とうがらし」の栽培・加工で地域活性化を～NPO法人てっちりこ～

NPO法人てっちりこ(鏡野町)は、地元に残る日本古来の品種である「姫とうがらし」の栽培と、加工品の開発・販売を通じた地域活性化の取組を行っています。

◆「姫とうがらし」を特産品に

NPO法人てっちりこ(鏡野町)は、平成10年に、町内の道の駅で販売していた地元産のとうがらしが日本古来の品種だと判明したことから、地域の特産品として活用することにしました。

このとうがらしは、昔から町内で栽培され、各家庭の漬物等で利用しているもので、「ドジョウとうがらし」や「ひめとうがらし」と呼ばれていて、辛さが遅れて感じられるのが特徴です。

同法人では、とうがらしを地域の特産品として活用するため、町内で栽培されているとうがらしの中から辛さ、形、大きさ等で優れたものを選抜して品種の統一を行い、「姫とうがらし」(平均約



▲「姫とうがらし」

15cmと大型)と命名して栽培を始めました。平成16年には組合員の栽培技術の向上を図るため「姫とうがらし生産組合」を設立し、近年は、生産者20～30名、生産量3～5tで推移しています。

◆「寒造(かんづくり)」で絶妙な味わいに

「姫とうがらし」の収穫作業は、9月から11月末まで行われ、収穫後は、そのまま出荷するものと粉末にするものを除いた残りを塩漬けにして保管します。塩漬けにしたものは、1月末ごろに、塩抜き、アク抜き、外皮を軟らかくする等の目的で、3日～7日間程度、雪の上に並べて寒風にさらす



▲「姫とうがらし」を使用した商品



▲雪の上で寒風にさらす「寒造り」

◆新商品の開発と販路の拡大で地域活性化を

平成17年に同法人が初めて商品化した「姫とうがらしドレッシング」は、ダシ醤油とごま油、菜種油に「姫とうがらし」を入れたもので、後からくるとうがらし



▲米麴、塩と混ぜ合わせる作業

の辛味が病み付きになるとして人気があります。また、「醗酵とうがらし」を地元の田舎味噌に入れた「熟成とうがらし味噌」、醤油に入れた「とうがらし醤油」等を次々に開発し、現在では、約40種類の商品をデパートや地元の物産館等で販売しています。

同法人の安藤理事長は、「今後は、多くの消費者に「姫とうがらし」を知ってもらうため、販路の拡大に取り組むとともに、商品や姫とうがらしの生産量を拡大し、生産者の所得向上を図りたい。」と意気込んでおり、同法人の取組を核とした地域の活性化が期待されます。

「平成26年度中国四国地域鳥獣被害対策優良活動表彰 表彰式」を開催

中国四国農政局は2月24日、岡山第2合同庁舎において、「平成26年度中国四国地域鳥獣被害対策優良活動表彰 表彰式」を開催しました。

本表彰は、本年度から、中国四国地域において鳥獣被害対策に貢献している団体等のうち、他の模範となるような鳥獣被害対策活動に継続的に取り組んでいる団体等を表彰し、その取組を広く紹介することにより、各地域での被害防止活動を更に推進することを目的に実施するものです。

今年度は、岡山県美作市、広島県世羅町横坂集落、徳島県上勝町府殿（ぶどの）集落が受賞し、表彰式において中国四国農政局長から表彰状を授与するとともに、表彰式後には受賞者との意見交換を開催しました。



受賞団体の皆様

農家の皆さんを応援します。～こんなことはありませんか～

中国四国農政局では、日頃、農家の皆さんがお悩みのことについて、ご活用いただける補助金などを紹介するパンフレットを作成しました。

農家の皆さんを応援します！
こんなことはありませんか。

農業経営でお悩みの方

- ・米が安くて困ったなあ。 → 裏面①へ
- ・麦・大豆をつくっても安いからなあ。 → 裏面②へ
- ・飼料用米をつくって大丈夫かな？ → 裏面③へ
- ・環境に優しい農業をしたいけど減収するのが。 → 裏面⑥へ
- ・農地を増やしたい。 → 裏面⑦へ
- ・これから農業を始めたいけど、農地を借りるにはどこに聞けばいいだろう。 → 裏面⑦へ

農地の維持・管理等でお悩みの方

- ・農地をやる気のある人に貸したいけど…。 → 裏面⑦へ
- ・みんなで地域を守りたいけど何かきっかけが…。 → 裏面④へ
- ・傾斜がきつくて大変。もう農業をやめようか…。 → 裏面⑤へ

中国四国農政局 平成27年2月
農林水産省

経営所得安定対策

- ①米・麦等をつくって収入が減った場合ももらえる補助金があります。
米・雑作物の収入減少影響緩和対策 → 1ページへ
- ②麦・大豆等をつくるともらえる補助金があります。
雑作物の直接支払交付金 → 1ページへ
認定農業者になるには → 5ページ
集落営農の要件は → 7ページ

水田フル活用

- ③水田を活用して麦・大豆・飼料用米等をつくるともらえる補助金があります。
水田活用の直接支払交付金 → 9ページへ

応援します！

日本型直接支払

- ④地域ぐるみで田畑ののり面の草刈りや水路の泥上げをするともらえる補助金があります。
多面的機能支払 → 13ページへ
- ⑤傾斜がきつい地域で農業をがんばる人たちがもらえる補助金があります。
中山間地域等直接支払 → 13ページへ
- ⑥環境に優しい農業をするともらえる補助金があります。
環境保全型農業直接支払 → 13ページへ

農地中間管理機構

- ⑦農地の貸借りに応じます。
※公的機関が借り受けて担い手に貸付します。
農地中間管理機構 → 15ページへ

中国四国農政局長からのメッセージ

農業や地域で困っていること、取り組みたいことがありましたら、お気軽に農政課までお問い合わせください。
中国四国農政局長 仲家 肇一

※各対策、交付金には対象条件がありますので、対象にならない場合があります。
この資料のお問い合わせは：086-224-4511(代表) 中国四国農政局企画調整室までお問い合わせください。

パンフレットの詳しい内容は

<http://www.maff.go.jp/chushi/kohoshi/panf/4kaikaku.html> でご確認ください。



【テーマ】 「農業・農村が有する多面的機能や農地集積
～未来へつなぐ「美しく活力ある農村」を目指して～」

【期間】 平成27年3月9日(月曜日)～平成27年3月27日(金曜日)
(土・日曜日及び祝日を除く。最終日は13時まで)

【場所】 岡山第2合同庁舎1階「消費者の部屋」展示コーナー

【お問合せ先】 中国四国農政局消費・安全部消費生活課 (内線2314)
・詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/chushi/heyu/index.html>

編集:中国四国農政局 企画調整室

〒700-8532 岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎

TEL(086)224-4511(内線2295) FAX(086)235-8115 <農政局HP> <http://www.maff.go.jp/chushi/index.html>

◇各種メールマガジンを配信中(登録はこちらから) <http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>